

## 第5学年 社会科 学習指導案

### 1. 小単元名『水産業のさかんな地域』

(教科書：『小学社会 5上』 p. 74～87／学習指導要領：内容（2）ア、イ、ウ）

### 2. 小単元の目標

- ・水産業がさかんな地域について調べ、その地域の自然条件や、水産業に携わる人々の工夫や願いを捉えさせる。
- ・水産業が加工や運輸などの仕事と密接に関わっていることや、費用との関係、水産資源や自然環境を守りながら漁業を進めていることに気づかせ、これからの水産業のあり方を考えさせる。

### 3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
日本の水産業の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、国民の生活を支える我が国の食料生産の発展を考えようとしている。	日本の水産業の様子から学習問題を見いだして追究し、それが国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。	日本の水産業の様子を的確に調査したり、基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	日本の水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを理解している。

### 4. 指導にあたって

#### (1) 児童の実態

日本は四方を海に囲まれており、また、海流が交わる場所でもあることから、水産資源が豊富である。日常の食卓にも魚介類やそれらを加工した食品が並ぶことが多く、子どもたちにとっても身近な食品である。本小単元の導入では、日常から目にしている水産物を列挙し、学習課題を考え、意欲的に追究することで、水産物やその加工品が食卓に届くまでの仕組みや工夫を理解させたい。

#### (2) 教材について

本小単元は、大単元「食料生産を支える人々」の中の水産業に関わる単元である。日本人にとって主食となる米作りを学んだあとの学習であり、米作りと同様に、携わる人々の苦労や願いなどを考えさせる。また、米作りとの違いも比較させながら、水産業の現状や、安定的に水産物を供給するための養殖業や栽培漁業の取り組みについて理解させたい。

そして、安全で質のよい水産物を食べ続けるために必要なことを、学習したことをもとに考え、話し合ったりノートにまとめたりする活動を設け、安全性や鮮度を保つ取り組みや工夫、水産資源や自然環境を守る取り組みを具体的に挙げ、結びつけて考えさせたい。

### (3) 指導上の工夫・留意点

米づくりでは、人の手で一から稲を育てて収穫するのに対し、さんま漁では、さんまの育成に人の手は加わず、自然の中で育ったさんまを漁獲する。こういった「とる漁業」の前提を把握しておくとし、人の手によって水産物を育てて増やす養殖業・栽培漁業との違いもわかりやすくなり、水産資源の保護・自然環境の保全の必要性についても捉えやすくなる。

## 5. 小単元の指導計画（総時数8時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① (つかむ)	自分たちの食べている水産物の名前や産地を調べ、日本の水産業について興味や関心をもち、調べようとする意欲をもつことができるようにする。	○普段食べている水産物を発表し合う。 ○資料を読み取り、主な漁港の位置や、海流と水あげが多い漁港との関係について話し合い、学習問題を設定する。  わたしたちが食べている水産物は、どこで多くとれるのだろう。	◆自分が食べている水産物が、どこで、どのようにしてとられているのか、関心をもって調べようとしている。 (関・意・態/観察・発言) ◆水産業に携わる人々の工夫や努力について調べる学習問題を考え、表現している。 (思・判・表/ノート)
② (調べる)	さんまをとる中陳さんの仕事の様子から、水産業について調べたいことを話し合い、さまざまな工夫をしながらさんま漁を進めていることを調べて捉えられるようにする。	○漁師の中陳さんがどのようにしてさんまをとっているのか、イラストを見て気づいたことを話し合う。  漁師の人たちは、どのような方法で、さんまをとっているのだろう。  ○さんまをとる中陳さんの仕事について、調べたいことを話し合い、ノートに書く。 ○中陳さんの話や写真資料などをもとにしながら、さんま漁の工夫を調べ、ノートにまとめる。	◆中陳さんの漁の様子から疑問に思ったことや調べたいことを考え、さんま漁の工夫や、鮮度を保ったまま運ぶための工夫について調べたことを表現している。 (思・判・表/発言・ノート)

<p>③ (調べる)</p>	<p>根室港の様子や出荷に向けての仕事を調べ、さんまの出荷に携わる人々の工夫や努力、出荷にかかる費用と値段の関係について、捉えることができるようにする。</p>	<p>○写真やグラフをもとに、水産業がさかんな根室の港や地域の様子を調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>さんま漁のあと、漁港でどのような仕事が行われているのだろう。</p> </div> <p>○港での作業の写真を読み取り、水あげされたさんまのゆくえを調べる。 ○出荷に向けた作業の中で、どのような費用がかかっているか考え、話し合う。 ○加工工場の人のお話を読み取り、そこで働く人たちの工夫や努力について話し合う。</p>	<p>◆水あげしたさんまを新鮮なまま出荷するために、さまざまな仕事の工夫や努力があることや、それらの作業には費用がかかること、さんまの値段の決め方について理解している。 (知・理/ノート)</p>
<p>④ (調べる)</p>	<p>さんまが港から自分たちのもとに届くまでの様子を調べ、産地と消費地を結ぶ流通・輸送のはたらきについて捉えることができるようにする。</p>	<p>○水あげされたさんまが産地から消費地までどのように運ばれるのか、写真や表を読み取って調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>さんまはどのようにして、わたしたちのもとにとどくのだろう。</p> </div> <p>○運送会社の人々がどのような工夫や努力をしているか、話をもとに考える。 ○さんまのさまざまな輸送手段を資料をもとに調べ、それぞれの長所や短所について、速さや費用の面から考える。</p>	<p>◆さんまが消費地に届くまでには、さまざまな仕事や輸送の方法があり、それぞれの輸送手段の利点を生かして、水産物が運ばれていることを資料から読み取っている。 (技/観察・ノート)</p>
<p>⑤ (調べる)【本時】</p>	<p>北方領土と漁業の制限、水産資源の減少などについて調べ、漁業に携わる人たちの願いについて考えることができるようにする。</p>	<p>○中陳さんの話などを読み取り、根室の漁業と北方領土との関係について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>漁師の人たちは、漁業を続けていくなかで、どのようななみや願いをもっているのだろう。</p> </div> <p>○地図やグラフなどを読み取り、日本の漁業の現状について調べる。 ○中陳さんの話をもとに、漁業に携わる人たちの願いについて考え、話し合う。</p>	<p>◆中陳さんの話などから、漁業が抱えている課題について調べたことをもとに、漁業に携わる人たちの願いについて考え、表現している。 (思・判・表/発言・ノート)</p>

⑥ (調べる)	自然環境を生かしたかんぱち養殖について調べ、質がよく安心な魚を安定して育てる養殖業の工夫や努力に気づくことができるようにする。	<p>○鹿児島県垂水市の位置や自然条件について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">魚を育てる養殖業とは、どのような漁業なのだろう。</div> <p>○かんぱち養殖の仕事やえさやりの工夫について、写真などの資料をもとに調べる。</p> <p>○漁港で働く平野さんの話から、養殖業に携わる人たちが心がけていることについて考え、話し合う。</p>	◆複数の資料から読み取ったことをもとに、安心な魚を安定して育てるための養殖業の工夫について捉えている。 (知・理／ノート)
⑦ (調べる)	安定した漁業生産を目ざした稚魚育成や栽培漁業の取り組みについて調べ、今後の水産業のあり方について考えることができるようにする。	<p>○かんぱちの稚魚を育てて出荷する仕事について、写真などの資料をもとに調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">水産資源を守り育てるために、どのような取り組みが行われているのだろう。</div> <p>○稚魚育成に携わる外菌さんの話から、安定して魚を育てる理由や外菌さんの願いについて考える。</p> <p>○水産資源を守る取り組みについて調べ、これからの水産業について話し合う。</p>	◆安定して水産資源を確保していくためのさまざまな取り組みについて調べたことをもとに、これからの水産業のあり方について考え、表現している。 (思・判・表／発言・ノート)
⑧ (まとめる) (深める)	これからの水産業のあり方について考えたことを話し合い、さらに考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	<p>○安全でおいしい水産物を届ける水産業を続けるために必要なことについて考え、ノートに書く。(まとめる)</p> <p>○まとめた考えを話し合ったり交流したりしながら、新たな考えをつけ足したり、内容を広げたりする。(深める)</p>	◆調べたことをもとに、日本の水産業について、さまざまな表現を用いて表している。 (思・判・表／ノート)

## 6. 本時の指導 (第5時)

### (1) 本時のねらい

北方領土と漁業の制限、水産資源の減少などについて調べ、漁業に携わる人たちの願いについて考えることができるようにする。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T: 発問 C: 児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
15	<p>○これまでの学習を振り返り，食卓にさんまが届くまでの過程を確認する。</p> <p>C: 新鮮な魚を届けるための工夫がされていた。</p> <p>C: 漁師の方は，安全でおいしい魚を食べてもらいたいと願っている。</p> <p>○漁師の中陳さんの話などを読み取り，根室の漁師の悩みや願いについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>漁師の人たちは，漁業を続けていくなかで，どのようななやみや願いをもっているのだろう。</p> </div>	<p>◎教科書</p> <p>◇新鮮な魚を届けるために様々な工夫や願いがあることを確認する。</p>
15	<p>○中陣さんの話や地図，グラフなどを読み取り，日本の漁業の現状について調べる。</p> <p>T: 中陣さんのなやみは何でしょうか。</p> <p>C: 北方領土の周りの海は自由に漁ができないことです。</p> <p>C: 魚がとれる場所や量が大きく変動していることです。</p> <p>C: 若い漁師が減っていることです。</p> <p>T: それぞれの悩みの原因を教科書や資料集などで調べてみましょう。</p> <p>C: 前に勉強したロシアとの北方領土の問題が原因のようだ。</p> <p>C: 遠洋漁業の減少は，200 海里の制限と関係がありそうだ。</p> <p>C: 沖合漁業が急激に減ったのはどうしてだろう。</p>	<p>◎資料集</p> <p>◇「遠洋漁業」「沖合漁業」「200 海里」といった用語についても調べるようにする。</p>
15	<p>○中陳さんの話をもとに，漁業に携わる人たちの願いについて考え，話し合う。</p> <p>C: 北方領土の問題や 200 海里の制限など問題もあるけれど，安全でおいしい魚をとる漁師の仕事を，若い人にもやってほしいと願っている。</p>	<p>◆中陳さんの話などから，漁業が抱えている課題について調べたことをもとに，漁業に携わる人たちの願いについて考え，表現している。</p> <p>(思・判・表/発言・ノート)</p>

7. 備考

沖合漁業の大きな減少は，マイワシの漁獲量の減少が主な原因と考えられている。環境省や農林水産省ウェブサイトの資料などを活用して，児童に提示するのもよい。